

本草圖譜
蔓草
廿

三三六三

農商務省
圖書
第 二 七 〇 號
共 七 二 冊

和書門
八四二四
七二
類號函架冊

內閣文庫
和書
八四二四
七二冊
九六函架

內閣文庫	
番號	和 8424
冊數	72 (21)
函號	196190



本草圖譜

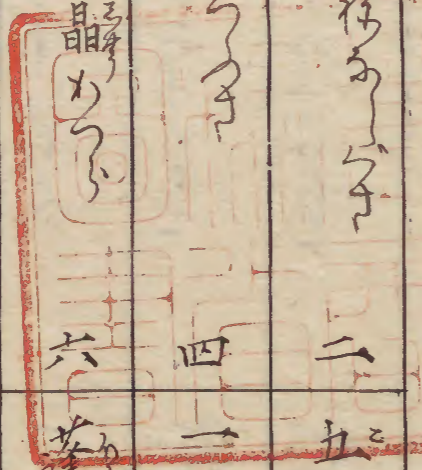
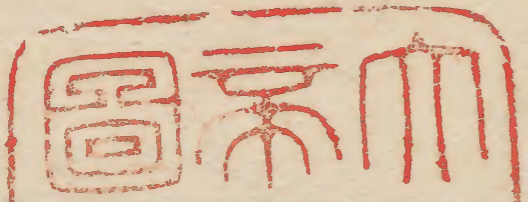


本草圖譜卷之廿五日録

明治十二年購求

蔓草類

一 種	一 種	一 種	一 種	一 種
みぢまゆらぐさ	特生の物	水晶	まろくさ	糸子
土	丸	六	四	二
覆盆子	一種	蓬蘽	一種	味子
	ちまごちまごち	うすちまご	うねうね	
	十	七	九	三



本草圖譜

卷之廿五日録

二 蓬蘽 覆盆子

鬼絲子

一名金線藤

揚州府志

絲子

本草和名

絲子

うゝのそらめん

前

サイサムシ朝

キエスキエ夕荷

初夏山野の草莽中不實より生じ始生する時其長さ四尺分の白絲の如く葉を繋ぎ其蔓傍の草に纏り長ずるに従て根の方拓る其行ふ所悉く肉を半樹を繋ぎ如く他草の氣を吸て生長し終り絡む草木を拓すこと夏秋の間に蔓紅色あり絲を亂したる如く節の間に小白花を以て開き後實を結ぶ大麻子より大なる殻中三箇仁有り形蘿蔔子に似たり此物他物の氣を假て長ずる毒草木に絡むる用を以て桑土加枹拵等を生したる必切あり





五味子
種朝鮮



五味子

享保年中朝鮮より種渡り今母傳我春舊蔓より葉を以て梅葉に似て長
葉以四月葉開小穂を結し白花を開く形南五味子に似て八九瓣實の長
穂を以て三寸下無圓實を結し形落葉に似て熟す則ち黒色味酸澀
此又花實の房短く小蔓より能實を結し物あり是れ景説不出高麗
と云時珍説此産者色黒と云これより備急本草の越州五味子なり

一種

まろく子

葉を搗て嗅か松葉
の氣を故に名に
此蔓肥大なるもの軟
子や物を結ぶ故に名

つろく子
別豆

武列八王子山中常陸筑波諸國山中あり葉は南五味子より圓りて光香
の葉の如く鋸齒あり光澤あり朝鮮種も同じ冬葉枯夏月葉り間ふ七八瓣の

淡黄花を結し下齒す形荷花に似て小なる後黒子を結し微澀あり朝
鮮種も亦北産の一種なり

一種

うねわろく

ひろくわろく
江

まろくわろく
別雲

人家藩籬に栽藤蔓まろくく似たり葉は冬青の如く似て柔く背紫赤色
光澤あり冬凋まろく夏月葉開淡黄色の花を結し形蓮花に似て小なる
實は數顆ありまろくて鈍く熟す則ち紅色乾し枯燥し味苦味あり下
品なり時珍説南産者色紅と云是より藥店に和産の五味子と稱する是

まろびん



つねね



ナニカク



一種

水晶

かつ



つねかつの一種を實白色を
 のはつ又淡紅を帯るものあり

蓬藟

つむりちこ

暖國の山中陰地あり四時潤まき莖細く蔓の如く敷り圓く鋸齒あり錦葵
 花の葉小く光澤あり五瓣の白花實は冬月熟し紅色なり是汪機説するの寒梅

一種

圓葉の物形状つむりちこに似て敷り

一種

たぐりちこ

駿州豆別等あり敷り寒梅に似て大い莖葉より紅色の毛刺多く蔓の如く長
 八九尺末地に附て根を生じ十月實を結する寒地より花實あり亦寒梅の一種なり

蓬蘽

つちりちと

圓葉

つちりちと



たぐりいもご



一種 特生の物

形状はついで
木根より生ず
ゆへに鋸齒有



一種 木とてあらはれど 蔦田蔗

己己のちと みつそいちと

ゆいん

山野に多し密樹
とて生ひ葉は枝
三葉を稍此葉
短中似硬く大
蒼月五瓣の白花
を開き實を結ぶ
五丈の葉は中
中葉穂の似て小
赤色を手にす葉
葉の根刺は赤
根を生く此時珍
説書の蔦田蔗



一種

みまのり

名ひわらび

葉赤毛刺ゆへ海蝦の
鬚に似るゆへ名ひ

深山より昔時より生れぬり
あつちのちよふに類大の背白
色夏月止瓣の淡紅花を離く
實は椀の如く似て紅色味酸用
葉紅色毛刺甚多長く天
中及び梅地の所を根を長



覆盆子



イマレツプ
 リエヒユス
 フラータン

蝦夷
 羅甸
 荷蘭



覆盆子

漢種の物處々葉圓のり形状薔薇に似て一莖五七葉光澤のり枝幹小白粉のり
て刺あり夏月花のり一枝數十花五瓣白色實の蓬蘽に似て紅色のり知産のり
いれざる實の形もろふ似るも存はく形状相似のり

一種

こきりちと 仙臺

幹の蓬蘽に似て紅色の毛刺多枝直立一葉のり一枝五葉全く茶藨に似て長
く花實の縣鉤子と同一

一種

五葉いちと

薔薇葉蓬蘽 喜祐本草

ワセいちと 中いちと

處々山野のり密根より生れ又薔薇より生れ葉莖毛茸のり一莖五葉茶藨に
似るのり光澤のり春月五瓣のり白色を開く形桃の花に似る實の如梨の葉のり
桑椹に似て紅黄色のり陳士良のり説ふ葉似野薔薇と云是のり



こきりちと 仙臺

本草綱目 卷之七 三

五葉
つちご



薔薇葉

蓬蘽
喜祐
抄

一
種

尾列の産



本草綱目 卷之七 三

一種

とろろりちと かんろりちと

苗短く四五葉の薔薇の如く花白色單瓣形のちる如く實のちる如く似たり花實
とろろり下岳に

一種

つみろりちと ころろりちと ころろりちと

餘醜 園書南 産志 雅容 吳中 純明 刺頭花 泉別 存志

高う三四尺葉の薔薇の如く枝幹刺多し夏白花あり千瓣形千葉の白牡丹に似たり
根の至る處苗を生じ此物な右より薔薇類に入るに穂やいふに類の花の葉
の下に實を結ぶるもの類の花の中實を結ぶ此物よりいふに類の花の葉
實を結ぶは秋傳花鏡に云有紅者俗呼番茶葉亦不香○廣事類賦引清異
銘曰餘醜花多者百宜枝獨安香沈香友白蔓若綠衣傳粉瓊帶雪潔

一種

つみろりちと

武列處々山野にあり高さ七八尺枝幹肥大あり綠色葉の薔薇の如く似たり深綠色
光澤の花は瓣白色實大なり黄色上より味義あり



とろろり
りちと



くまのちご



くまのちご

一種

ミナソウのちど

木曾の玉瀧の産に垂れ
木は三丈の形楓の葉に
似て大は八九寸三月白花冷



一種

ミナソウのちど

山野のり高さ四五尺葉
狭く長く鋸齒の花白色
土解下に向ふ枝幹紅色刺
多し實は覆盆子の如し



一種

クミトウチノ尾

此野の多し兼ハ
此葡萄の似て細
白月五輪白花を
形實の形也
盆子と云ふ



懸鉤子

オウゴン



高さ三四尺葉ハ鳥
頭形似て其大
小七鋸齒ハ花實
ハ覆盆子と同一

一 種

ひんご



尾刈りそりみどりひんごと云々此花
 大木異の葉の余り山崎の山に似
 て高さ四五寸あり花實は

蛇 莓

ひんご

くらなごひんご

山野甚く繁る宿根よる半
 一茎三葉頗る藤田蔗の葉に
 似て軟く細き蔓を以て
 節節よる根を生じ夏月五
 瓣の黄白色の花を結ぶ形紫赤背
 龍芽大葉の如く似て實の
 形覆盆子に似て紅色揚
 梅の如し



本草綱目 卷之四 漿果 一

一種 白花の物

濃州三浦山は産以て莖
三葉蔓紅色絲の如く
夏月五瓣の白花を結
く形白梅の如く

一種 荷蘭の種

ふんふんふん

西洋の種より近年來る形
状のものは亦似て苗葉長大
白色實長く紅色下葉以



本草綱目 卷之四 漿果 一

一種

葉小く三葉して
粉綠色花實ハ
亦小く細蔓を
引文蝦夷小黒
花のこりなり



一種

まじびいちご

ヨウモリ
江

山野の多し一枝五葉形狼牙の
似て蔓を引花實蛇莓に似て實赤
色なり時珍の詭不蛇纏草の有
五葉七葉者とも是なり此物毒なり



本草圖言 卷之十 五

木 鼈 子

船来の物生
草和産か



番 木 鼈

同上

まぢん

